



七小だより

令和4年(2022年)2月28日
国立市立国立第七小学校
校長 小畑 行広
NO. 11 3月号

厳しい冬を乗り越えて

校長 小畑 行広

国立市内の各小中学校において、多くのコロナ禍の対応が実施される中、本校においても、学年・学級休業や体調不良のお子様の早退等の対応をさせていただきました。子供たちの安全と安心を守るために、保護者の皆様や地域の皆様には、たくさんのご理解とご協力を賜りました。改めて、御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

本校の教職員も全力で、学校運営と学びの保障のために、寸暇を惜しんで取り組ませていただいております。保護者の皆様の思いを受け切れていないところもあり、心苦しいところも多ありますが、この3月においても、保護者の皆様や地域の皆様と協働しながら、各学年のまとめと年度末の取組を終えてまいりたいと思います。

さて、全国的にも有名な国立市の春の風景として、大学通りの満開の桜は、皆様もよくご存じのことと思います。その桜の維持保全の取組として、「桜守り」の活動をされている大谷さんから、「6年生の子供たちに桜の植樹を」との提案がありました。

有り難いお話をいただき、過日の2月16日(水)に、大学通りに1本の桜の木を植樹してまいりました。すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、その様子を読売新聞の記事として、17日の朝刊に掲載していただきました。

卒業を迎える子供たちにとって、また、コロナ禍で様々に制限があり、思い通りにならない日々の生活の中で、自分たちが関わり、年々生長していく桜の木を植えられたことは、これからの未来を生きる子供たちにとって、きっと何かの支えになると思います。

植樹の際には、大谷さんより、校長先生もお話をしてくださいとの話がありましたので、2つのお話をしました。

その1つは、

「大学の時に、仲間の友達と植樹をする機会がありました。その木は、年が経つごとに生長し、社会人となってから、大学に行った時には、その木の生長を見て、当時のことを振り返りながら、また、頑張ろうという気持ちにさせてくれました。」というものです。

そして、もう1つは、

「桜の樹は、冬の厳しい寒さに遭い、寒さを耐え忍ぶからこそ、美しい満開の桜として咲くことができます。君たちが土をかけ、水をやり、そのことで根がはって、強い風にも負けずに、10年後、20年後にもきれいな桜の花を咲かせることができます。今日のことを大切に、この場所を通った時には、『元気でね。』とか、『きれいに咲いてね。』とかの言葉をかけてください。その言葉に、桜も応えてくれます。今日の植樹を、皆さんの大切な思い出として忘れないでください。」というものです。

人生には、節目がいくつもあります。その時に自分を支え、自分の背中を押して前を向いて歩くことを決意させてくれるものがあります。

それが、思い出であったり、言葉であったりすることがあります。今回の6年生の桜の樹の植樹が、子供たち一人一人の希望の支えとなってほしいと願う思いと、桜という樹がもつ「耐え忍ぶからこそ美しく咲く」という性質から、私たちも様々な制限に負けず、前を向いて取り組むことや少しでも成長するための一歩を踏み出す勇気を大切にしてほしいという願いを込めて、お話をさせていただきました。「明けない夜はない」ことや、「冬の後には、春が来る」ことを信じて、日々の生活を大切に努めていきたいです。今年度、様々にお世話になった保護者の皆様、地域の皆様、本校の教職員、そして、本校児童に心から感謝いたします。ありがとうございました。



(裏面もあります)

生活指導部より

生活指導部

今年度も多くのコロナ禍の対応が実施され、子供たちの生活様式も様々な場面で変化がありました。朝の検温や、毎授業後の手洗い、無言配膳に無言給食、等々。「これもしなければならぬのか。(強制感)」「前までは、もっとできていたのに。(不満感)」と、思ってしまうがちな内容も、児童の実態によってはあるようです。1・2年生からしてみれば、当たり前な生活様式かもしれませんが、高学年からしてみれば、その気持ちも十分に理解できます。少しでも、強制感や不満感を子供たちにもたせないよう、生活指導を進めるうえで「価値観を共有すること」を大切にしています。今この現状の中で、「みんなの安全が守られて安心していられるためには、この決まりを大切にしたいのだ。」という学校としての価値観を、「一緒にやってみよう。」「こうしていこうよ。」というスタンスで子供たちに伝えることです。もちろん、これだけではありません。新しい生活様式をきちんと守れた場面を、褒めて価値付けることで、ますます取り組ませるよう仕向けたり、周りの子に真似させるよう仕向けたりします。子供たちから発信できる場や機会をつくり、子供から呼びかけることもしました。あの手この手で、試行錯誤しながら生活指導を進めています。

この時期になり、行事の変更が重なることもありました。変更を残念に思ったり、先が見通せないことで、焦りを感じたりしている児童もいるようです。長くお休みをされていて、久しぶりの登校に戸惑い、不安を感じている児童もいます。丁寧に実態を把握していき、学校全体で支えていきます。

保護者の皆様には、生活指導へのご理解、毎日の健康観察や、体調管理にご協力いただきありがとうございました。地域の方々には、毎朝の登校時だけでなく、様々な場面で七小の子供たちを見守っていただきました。本当にありがとうございました。多くの方々の支えの中、子供たちは元気に登校することができました。今学期も、残すところあと少しになります。最後の登校日まで、どの子も「安全・安心」に登校できるよう、そして明るい気持ちで進学・進級する準備ができるよう、教職員一丸となって支援・指導してまいります。御心配なこと等、何かありましたら、学校までご相談ください。

【3月の予定】

1日(火)	5時間授業 (5年以外)	14日(月)	5時間授業
2日(水)	保護者会 (3・4年)	15日(火)	5時間授業 くるみ面談 (~24日)
3日(木)	6年生を送る会 (延期) 保護者会 (1・2年)	16日(水)	卒業式練習① (6年)
4日(金)	感謝の会 (中止) 保護者会 (5年)	17日(木)	5時間授業 卒業式練習② (6年) はばたき指導終
7日(月)	卒業式会場準備 (5年)	18日(金)	5時間授業 卒業式練習③ (6年)
8日(火)	5時間授業 避難訓練 多様な性に関する学習 (4年) くるみ学級保護者会	21日(月)	春分の日
9日(水)	代表者会議 (放課後)	22日(火)	給食終 5時間授業 卒業式練習④ (6年)
10日(木)	安全指導 5時間授業	23日(水)	特別時程 午前授業 卒業式練習⑤ (5・6年)
11日(金)	5時間授業 クラブ募集放送日 (3~5年)	24日(木)	特別時程 卒業式予行 (5・6年) 修了式 (朝~1校時1/3時間)
		25日(金)	卒業式
		28日(月)	春季休業日始

【4月の予定】

5日(火)	新6年生前日準備 9:00 春季休業日終	11日(月)	給食始 (2~6年) 視力 (2~6年)
6日(水)	始業式 8:20 入学式 10:00	12日(火)	保護者会 (くるみ) 安全指導 聴力 (2・3・5年)
7日(木)	午前授業 特別時程 体育館片付け (新5年)	13日(水)	保護者会 (5・6年) 発育測定 (1・くるみ全クラス)
8日(金)	午前授業 特別授業 発育測定 (2~6年生)	14日(木)	保護者会 (1・2年) 内科 (5・6年)
		15日(金)	保護者会 (3・4年)

※社会状況に応じて、変更となる可能性があります。その都度、メールや学年だより等でお知らせいたします。